

令和 7 年度 都島区運営方針（案）【共通様式】

（ 所属長：藤岡 慶子 ）

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」						
目標	「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現					
使命	・区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現 ・地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実 ・水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成					
令和7年度 所属運営の 基本的な 考え方	・「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。 ・区民の参画・協働により、安全・安心で、暮らしやすく、魅力あるまちづくりを進めます。					

重点的に取り組む経営課題						
経営課題 1 安全・安心のまちづくり						
		5 決算額	10 百万円	6 予算額	10 百万円	7 予算額 15 百万円
課題認識	●防災のまちづくり 令和5年度の区民アンケートにおいて、過去のアンケート結果との経年比較で、災害への備えをしている区民の割合および備えをしようとしている区民の割合がともに横ばいとなっている。 意識があるにもかかわらず実際に備えるに至っていない層を念頭に、引き続き、出前講座や学校園における防災授業、防災訓練、イベント等において、啓発活動に取り組む必要がある。 ●防犯のまちづくり 警察や地域と連携した啓発等を行っているが、大阪重点犯罪5手口の発生件数や高齢者等を狙った特殊詐欺の認知件数は増加していることから、より巧妙な手口による犯罪が増加していると考えられる。 街頭犯罪や特殊詐欺を抑止するために、地域安全防犯カメラの設置や自動通話録音機の貸与、出前講座の実施など、より効果的な環境整備と啓発活動が必要である。 ●安全で美しいまちづくり 令和5年度区民アンケートによると75%の回答者が市民協働による啓発活動が美しいまちづくりに寄与すると感じており、区民が主体となったさらなる環境美化への取り組みが必要である。 区民の環境美化意識を高めるため、効果的な啓発活動や「新！都島クリーン作戦」の充実など、地域が主体となった環境美化活動の推進が必要である。					
主な戦略 (課題解決の方策)	●防災のまちづくり 区民が日頃から災害への備えを積極的に行うよう、自助・共助の重要性を啓発し、地域防災リーダーなど人的資源の確保に取り組み、災害に強いまちづくりをめざす。また、区災害対策本部への新たなデジタル機器の導入等により、区役所の防災力強化に努める。 ●防犯のまちづくり 子どもや高齢者を狙った街頭犯罪、特殊詐欺の犯罪を防止するため、防犯カメラの設置、警察と連携した啓発等に取り組む。 ●安全で美しいまちづくり 路上喫煙対策をはじめ、放置自転車防止、交通マナーアップ、京橋地域の客引き防止について、引き続き市民協働による啓発等の取り組みを推進する。					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた 進捗度合を示した指標)	●防災のまちづくり 災害への備えの重要性の啓発につながる取組 50回以上 ●防犯のまちづくり 警察と連携した犯罪抑止や交通安全の重要性の啓発につながる取組 10回以上 ●安全で美しいまちづくり 新！都島クリーン作戦に参加した団体 10団体以上					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり						
		5決算額	76百万円	6予算額	83百万円	7予算額 85百万円
課題認識	●コミュニティ豊かなまちづくり 少人数世帯・高齢単身世帯の増加などの社会環境の変化や個人の生活様式及び価値観の多様化などにより、地域のつながりの希薄化への危機感は一層高まっている。また、地域活動の担い手不足やライフスタイルの変化などにより、地域活動への参加意識が低下している。 これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民などに対する人と人がつながる機会の提供や担い手不足の解消・負担軽減及び町会加入促進など地域の実情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進することが必要である。 ●いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり 地域コミュニティの希薄化を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきている。 大阪市地域福祉基本計画の基本目標である「気にかける・つながる・支えあう地域づくり」をめざしつつ、複雑化・多様化・深刻化する課題に対応するため、関係機関等と連携し、必要な支援をコーディネートする体制が必要である。 ●安心して子育てできるまちづくり 子育て支援室での相談受付件数は増加傾向であることから、保護者の不安に寄り添い、相談できる場所への需要が高まっていると言える。 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減する必要がある。					
	●コミュニティ豊かなまちづくり 新・市政改革プラン（令和6～9年度）の取組方針に掲げる「区政がめざす姿」の達成に向け、地域活動協議会が円滑な運営や多様な活動主体間の連携を図れるよう支援に取り組む。 ●いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり 地域の高齢者見守り活動の支援などを行う。さらに、誰もがいきいきと健康に暮らせるよう、各種健診等の実施や関係団体と連携した区民の健康づくりなど、地域の保健衛生に取り組む。 ●安心して子育てできるまちづくり 子育てに関する悩みを持つ家庭の不安を軽減するため、相談体制の充実等、子育て家庭への支援を行う。					
	●コミュニティ豊かなまちづくり まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会に対して地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思うと回答した地域数（全9地域） 令和9年度までに全地域 ●いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり 地域福祉コーディネーターが住民から受けた福祉相談を地域包括支援センターやランチなどの関係機関につなぐことで福祉コミュニティの促進を図り、関係機関と連携した見守り活動を展開する地域包括支援センター・ランチと連携した件数 年間500件以上 ●安心して子育てできるまちづくり 子育て支援室の相談件数 のべ500件以上					
アウトカム 指標 （経営課題の解決に向けた 進捗度合を示した指標）	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成					前年度実績

経営課題3 明日に誇れるまちづくり						
		5 決算額	16百万円	6 予算額	25百万円	7 予算額 66百万円
課題認識	●魅力あるまちづくり 三方を川に囲まれた都島区が持つ恵まれた自然環境や、歴史文化といった高いポテンシャルを生かして、区内外に向けたさらなる魅力創出・発信の取組が必要である。区民に都島区への愛着や誇りを持ってもらえるよう、恵まれた地域資源を生かした魅力創出・発信の取組が必要である。 また、多様な広報ツールを活用し、区内外から都島区に興味を持ってもらえるような情報発信や、大阪・関西万博を契機とした来訪者向けのプロモーションが必要である。さらに、今後のまちの長期的な変化に対応し、より戦略的な施策展開を行う必要がある。 ●未来の都島を担う人材育成 子どもを支える人や場が不足しているが、将来の夢や目標を持つことのできるよう、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会を支援する必要がある。 学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。 また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。					
主な戦略 (課題解決の方策)	●魅力あるまちづくり 水辺のまちづくり、区の魅力創出、歴史・文化資源を活かした地域の活性化を進め、区の魅力を再発見・共有するとともに、長期的な視点での区の将来像を示す都島区まちづくりビジョン（仮称）の策定に取り組む。あわせて、引き続き万博機運醸成の取組を強力に推進しつつ、それを契機として地域資源を活かした区の魅力向上を図る。 ●未来の都島を担う人材育成 悩みや不安を抱える子どもたちを支えるための居場所づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう環境を整備するとともに、学習の機会を提供し、子どもたちの教育環境の向上に取り組む。					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	●魅力あるまちづくり 区ホームページの「都島区の魅力」コンテンツ閲覧数 令和6年度実績以上 ●未来の都島を担う人材育成 区内小中学校長へのアンケートにおいて、区が行う教育関係事業の各取組に効果があったと回答した割合 70%以上					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

経営課題4 区役所力の強化						
		5 決算額	22百万円	6 予算額	23百万円	7 予算額
課題認識	●区民の声が区政に反映される仕組みづくり インターネットやご意見箱等、様々な方法で区民の声を受け付けているが、行政へのアプローチに至らない、表面化しにくい意見を把握できていない可能性がある。 広報誌が区政情報取得の手段として定着している一方で、対象や発信する内容に応じて、ホームページやSNSの利用を高める必要がある。 区民の意見やニーズを的確に把握し、区政に活かすための仕組みが必要である。 行政や地域活動の情報を、広報誌やホームページ、SNSを活用し、対象に応じて提供する必要がある。 ●区民が満足・納得できる区役所運営 令和5年度の格付け結果については、前年度に引き続き星2つを獲得した。 個別の窓口において、前年度より評価点を下げている窓口もあったが、庁舎の快適性や窓口までのわかりやすさなどの庁舎内の取組にかかる評価については、前年度より上昇しており、各課横断の職員による「カイゼンチーム」で進めてきた取組等の成果が反映されたと考えられる。 格付け結果において、星2つを獲得しているが、市平均を下回る窓口もあるため、職員全体の接遇力の向上に向けて、効果的な接遇研修の実施やカイゼンチームによる継続的な取組を進めていく必要がある。					
	●区民の声が区政に反映される仕組みづくり 幅広い区民から区政運営の意見・評価を得るため区政会議を開催する。また、多様な区民の意見やニーズを把握するため、区民アンケートを実施する。 広報誌を全戸配布し、区民にわかりやすい情報を提供する。厳選した情報を届けられるよう誌面を工夫するとともに、大阪市情報発信等最適化施策に基づき「一人ひとりの状況に合ったスマートな情報発信」達成に向け、ホームページやSNS等を効果的に活用する。 ●区民が満足・納得できる区役所運営 職員の接遇スキルアップによる窓口サービスの向上、人に優しい庁舎づくりを進めるとともに、ICTの活用やDXの推進による業務効率化など質の高い行政運営に取り組む。					
	●区民の声が区政に反映される仕組みづくり 区政会議に関するアンケートにおいて、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされていると回答した区政会議委員の割合 90%以上 ●区民が満足・納得できる区役所運営 「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」において、すべての調査対象窓口（全5）の評価点 3.5以上					
	アウトカム指標 （経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標）					
アウトカム指標の達成状況 （定量評価）			7 年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成		前年度実績	

自己評価 （運営方針全体の定性評価）	
今後の方針	